

小中学生の自由研究紹介

滝野公民館 ユニーク49作品並ぶ

加東

加東市の小中学生の自由研究を表彰する「加東市ノーベル大賞」の作品展が、

同市下滝野の滝野公民館で開かれている。大賞は、福田小4年の上月美伶さん、稲継篤斗君、井上慈悠君が水路調査に挑んだ「地域を

ささえる東条川疏水」。他にも、昆虫食の体験や24日間連続でのアリ観察など、ユニークな着眼点の計49作品が並ぶ。

大賞作品の3人は、広大な東条川疏水の水路網を訪ね歩き、ダムやため池、水路橋など10カ所を調査。水の透明度を調べる器具を自作し、管で送水するサイホンの原理を実験で調べるなどして研究の幅を広げた。

最優秀賞は、東条学園小

中の古田遥理さん（6年）、

洋翔君（4年）きょうだいの「加東市の昆虫たべるぜ！」。未来の食糧危機に備え、近くで捕まえたセミの試食をレポートする行動力が光る。

展示は16日まで。午前9時～午後5時。

（岩崎昂志）

他の入賞者は次の通り。

（敬称略、数字は学年）

【優秀賞】竹中玲那（米田小6）志賀葵生（滝野東小6）

【審査員賞】岸本奈津（社小5）西山幸花、西山侑吾（米田小5、3）橋尾征論（滝野東小2）【努力賞】河村愛心、小林みこと、下山千晴、長濱和那（米田小6）河村仁心、河村心陽（米田小6、3）金次大珠（東条学園小中6）



「加東市ノーベル大賞」に選ばれた作品「地域をささえる東条川疏水」＝滝野公民館